

役員改選がありました



5月25日のふくしねっとCoCoてらす
通常総会で、役員の改選が行われ、6名の方々
が役員に承認されました。

写真左から、手島千代子氏(理事)、
徳久直樹氏(理事)、溝渕敏水氏(理事長)、
西本久美香氏(副理事長)、竹林高子氏(理事)、
西村和興氏(監事)



令和5年度新規事業のご紹介

1. あつたかふれあいセンター事業

住み慣れた地域の中で、住民誰もが自由に交流できる場所づくりを行っています。

【集い】…介護予防体操や放課後支援、季節行事の開催など世代を問わず集える居場所をつくります。

【学ぶ】…クラフト教室や手芸教室など様々な教室を開催します。

【交わる】…モーニングや子ども教室など、地域との交流を兼ねた活動を実施します。

【訪問】…独居高齢者を中心に見守り訪問を実施します。

【相談・つなぎ・生活支援】…困りごとなどを気軽に話せる場づくりや各関係機関へのつなぎ、訪問時に
ちょっとした困りごとへの支援をします。



2. 土佐清水市在宅医療・介護連携推進事業

障害があっても要介護状態になっても自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるまちづくり

行政・医療・介護・福祉に関する機関が連携し、在宅医療・介護の提供体制の構築を目指します。

在宅支援相談室を開設し、関係機関から連携に関する相談を受け付けます。市内の専門職が不足する中、

今ある資源を守りながら、サービス提供体制を少しでも維持していくために、関係機関と協働していきます。

職員体制の紹介

CoCoてらす事務局		あつたかふれあいセンター	
事務局長	西本 久美香	コーディネーター	伊藤 牧子
次 長	速川 志保	福祉活動員	瀬渕 裕子
主 任	中山 良江	福祉活動員	早川 文
事務局員	江口 美和子	福祉活動員	平林 清子
事務局員	文野 静香	福祉活動員	山本 智佐
		福祉活動員	永野 菜乃花

令和4年度事業報告

ふくしねっとCoCoてらすが令和4年度に実施した主な事業は下記のとおりです。

【生活支援センター養成事業】

市内2地区で3回の養成研修をおこない、19人が新規登録できた。フォローアップ研修会を11回開催し、積極的に地区に出向きセンターとの交流を図った。

【要支援者在宅生活サポート事業】

要支援者に対しセンターの支援調整を実施。利用者25人、センター21人、延べ派遣909回。令和4年度は、地域包括支援センターから依頼があった新規14件に対応している。

【高齢者生活支援サポート事業】

虚弱高齢者等の生活支援サポートをおこなう支援調整を実施。利用者7人、センター9人、延べ派遣198回。センターとの連絡会を開催し、センターの不安や負担の軽減を図っている。

【施設介護ボランティア推進事業】

施設介護ボランティア養成研修を2回行い、対象を一般と高校生に分け実施し12人が登録。現在の登録者数53人となっている。屋外で開催されたイベントに1回2名派遣。ゴミ袋を新聞で作り特別養護老人ホームに届ける活動やボランティアだより発行によりボランティアとのつながりを保つよう努めた。

【認知症高齢者見守り支援事業】

見守り支援員養成研修会を3回、フォローアップ研修会を3回開催し16人が登録。現在の登録者数124人となったが、実際支援に入っている支援員は28人。利用者数は35人、延べ派遣925回。

【成年後見・あんしんサポート事業】

身寄りのない方の死後事務や、市内に近親者がいない方への支援などを契約に基づき有料でおこなう仕組みづくりを目指す。難聴や判断力低下のある方の受診同行も必要性があると意見を聴取している。

【障害者相談支援事業】

障害者の相談対応、情報提供・助言、サービス事業所との連絡調整およびサービス利用計画作成を実施した。計画26件、モニタリング86件、相談支援190件、ケア会議2件を実施した。

【地域生活支援拠点事業】

地域生活支援拠点を整備するために、コーディネーターを配置し、地域の課題整理や関係機関との連携、情報共有をコーディネートする事業。①実態把握調査22件、②支援者向けスキルアップ研修2回開催、関係者延べ19人参加、③地域住民向け研修会2回開催。延べ31人参加、④当事者向け研修会2回開催、延べ13人参加。⑤啓発用パンフレット7500部作製。関係機関と市内全戸配布。

【法人後見事業】

法人後見人として、4件の後見活動を実施。内訳は後見1件、保佐1件、補助2件となっている。

【福祉農園事業】

耕作放棄地を活用し農作物を作ることで、高齢者、障害者、子どもが世代間交流を図り、みんなの活動の場を作り出している。福祉農園で作ったさつま芋で天を作り産業祭に出店。当法人の活動の周知にもつながった。

